

(2) 算定対象疾患と算定期間

平成 18 年 4 月以降に調査対象医療機関でのリハビリテーションを開始した患者における算定対象疾患は、「肺炎」(37 件)が最も多く、次いで「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)」(30 件)となっている。10 件以上のケースのある算定対象疾患について、算定日数の上限をもって終了した患者の割合をみると、「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)」(43.3%)が最も多く、次いで「その他の慢性的呼吸器疾患により、一定程度以上の重症の呼吸困難や日常生活能力の低下を来している患者」(33.3%)となっている。

図表 6.7-4 算定対象疾患と算定期間

